

EASEプロジェクトにおける EPM (Empirical Project Monitor) を用いたプロジェクト管理デモ

奈良先端科学技術大学院大学
産学官連携研究員

松村 知子

2005年9月30日 JISA経営者セミナー

1

EPM (Empirical Project Monitor)

○ ソフトウェア開発支援として広く普及し利用されているツールからデータを収集し、プロセス改善のために有益な分析結果をユーザに提供するためのツール

- 構成管理システム, メーリングリストマネージャ, 障害管理システム etc.

○ 特長

- データ収集のための工数が非常に少ない
- リアルタイムに収集が可能
- データの改ざんが困難

2

構成管理システム — CVS

```
/* ワークディレクトリへソースコードをコピー */
$ cvs checkout module1

/* ファイル編集 */
$ vi module1/file1.c

/* 変更ファイルの保存 */
$ cvs commit -m "バグNo.1 修正"

/* 新しいファイルを作成 */
$ cvs add file_new.c
$ cvs commit -m "file_newを追加"

.....
```

3

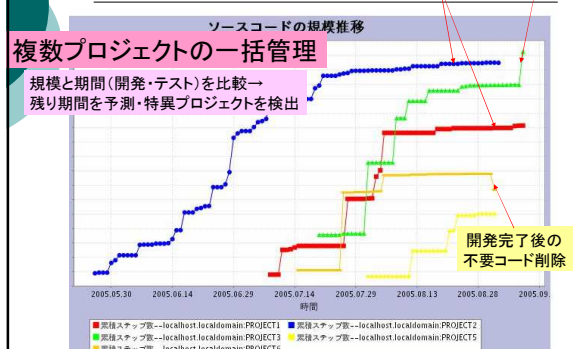
障害管理システム — GNATS

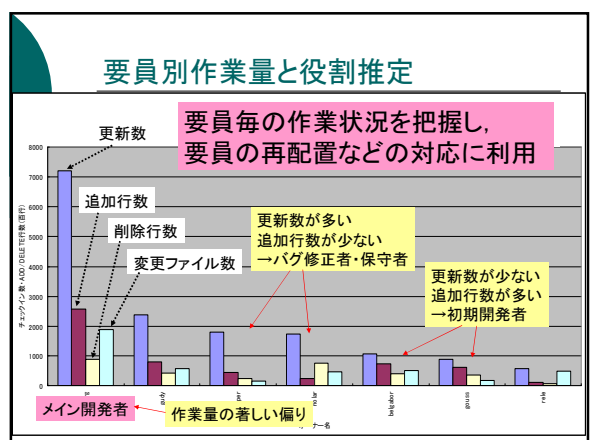
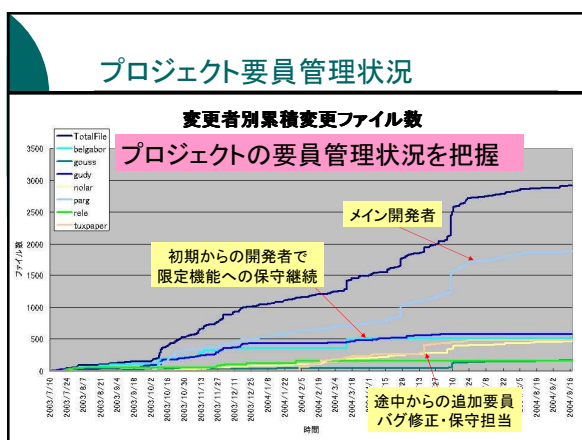
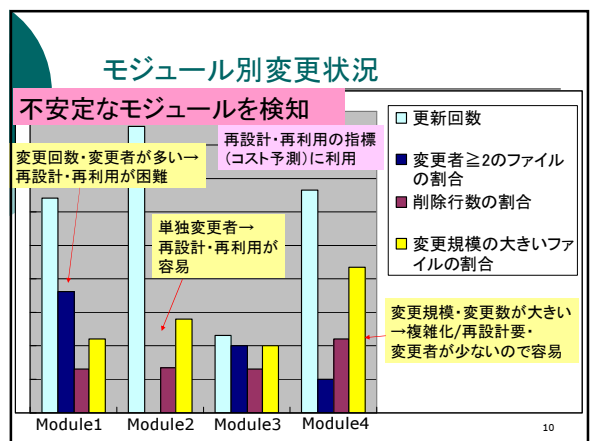
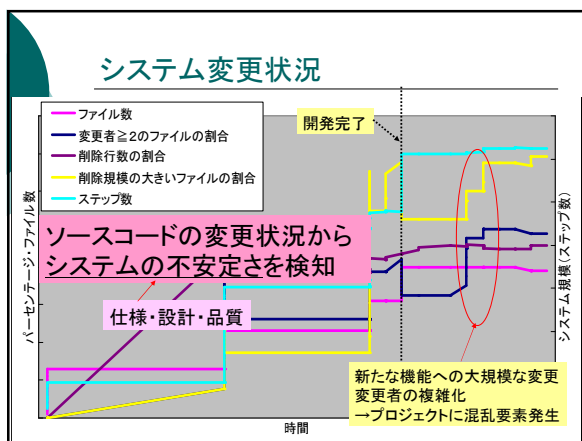
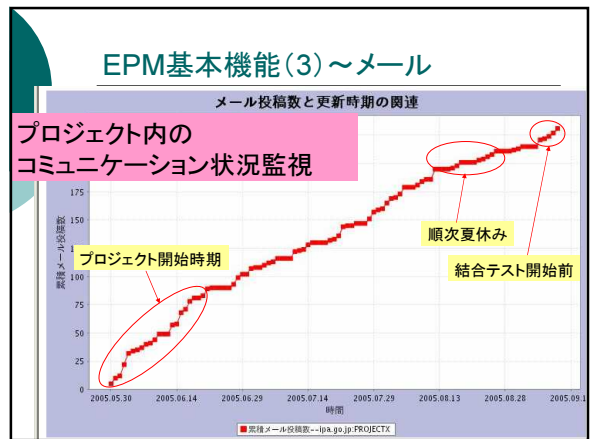
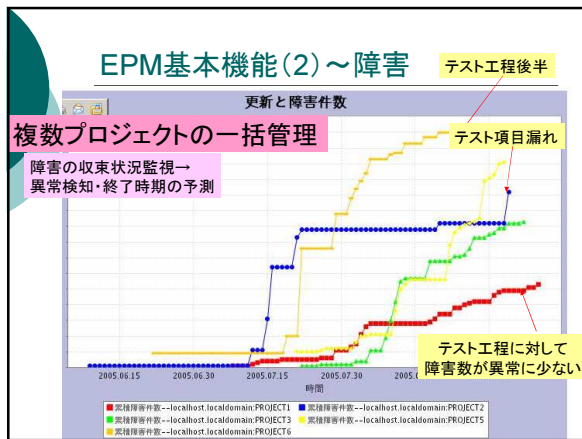
EPMの現状

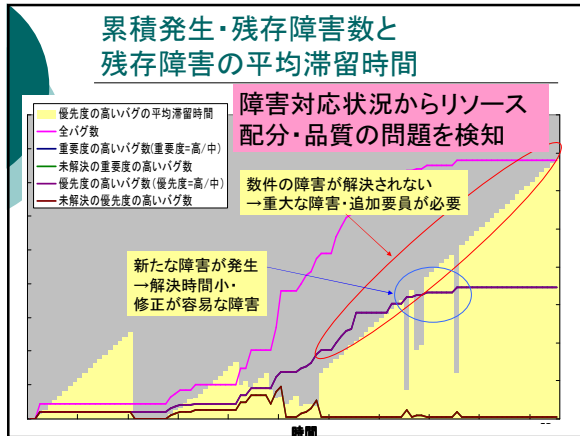
- 7企業(8プロジェクト)における導入実績
 - EASEプロジェクトで、導入支援, データ分析・フィードバックを実施中
- オープンソース化
 - ユーザによるデータ収集機能・分析機能のカスタマイズが容易
- 導入後のフィードバックによるツール機能の改善・新機能開発中
 - Excel出力機能
 - フィルタリング機能
 - 集計機能

5

EPM基本機能(1)～規模テスト工程







障害発見工程と平均工数(人時)

発生障害のコスト予測し、プロジェクトの遅延を予測

発生工程	発見工程								
	00 未入力	10 要件定義	20 基本設計	30 詳細設計	40 コーディング(単体テスト)	50 結合テスト	60 総合テスト	70 保守	80 運用
00未入力	0.625				0.9029	1.07	1.25		
10要件定義									
20基本設計				0.5		40			
30詳細設計				0.9	2.551	5.15			
40コーディング(単体テスト)	2.111111				1.52373	2.461224			
50結合テスト						2.921875			
60総合テスト									
70保守									
80運用									

基本設計の障害は重大な遅延原因

早期発見による遅延予防